

学生諸君および保護者の皆様

遠隔授業の実施について

教務主事

すでにお知らせしているように、本校では、5月8日（金）から当分の間、可能な限り、遠隔授業を実施します。遠隔授業は、対面授業（通常の教室内での授業）の代わりとして実施しますので、注意してください。つまり、**1回90分の遠隔授業は1回90分の授業としてカウントされ、提出物などを成績評価に利用します。**

できるだけ多くの科目を開講することにはしていますが、実験・実習を伴うような科目を中心に、科目の特性上、毎週の遠隔授業が困難な場合があります。また、一部の科目については、後期科目を前期に実施、あるいは、前期科目を後期に実施することもあります。

新型コロナウイルス感染症の収束については、明確な予想ができない状況です。このような中で、遠隔授業を行うことになり、学生諸君および保護者の皆さまには、大変ご負担をおかけしますが、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 通信環境

皆さんには、可能な限り通信環境を整えるよう、お願いをしています。通信会社によっては、25歳以下の学生を対象に50GBまで利用可能なサービスを提供していますので、ご活用ください。なお、通信会社によってサービス提供期間が異なりますので、ご注意ください。

<https://scrapbox.io/utdh/データ通信容量の支援状況>

また、皆さんの通信環境を、担任を通じて調査をしました。そのなかで、**やむを得ず通信環境が整わないと判断された場合、無線WiFiルータ（20Gbyte/月）の貸し出しを行います。**今後、通信環境が圧迫されるような事態が生じた場合（あるいは予想される場合）、担任に相談してください。

2. 遠隔授業とは

遠隔授業には大きく分けて、以下の2種類があります。

● オンデマンド型（教材提供型）

Moodleなどの学習管理システム（LMS: Learning Management System）にあらかじめ用意された授業コンテンツ（動画や講義資料などの教材）に取り組む方法です。設定された期間、いつでも授業コンテンツを見ることができます。また、メール、チャットなどを通じて質問をし、インターネットを介して課題提出などを行います。通信量は比較的、少なくてすみます。

- 同時双方向型（テレビ会議方式）

Microsoft Teams などのテレビ会議システムを用い、インターネットを介して生中継で授業の映像や音声を聴講する方法です。学生と教員との会話や質問も可能です。ただし、長時間、映像を含む状態で聴講すると、通信量は多くなります。

3. 本校での遠隔授業の形式

本校では、

- 各科目の遠隔授業：Moodle を利用したオンデマンド型
- 朝の SHR および本科 1～3 年の HR：Microsoft Teams を利用した同時双方向型

により実施します。

各科目の遠隔授業は、スマートフォンでも受講可能な授業コンテンツを提供します。

事前に、以下の 2 点を必ず確認してください。

- Moodle

<https://moodle2.maizuru-ct.ac.jp/>

にログインできることを確認してください。

- Office365

<https://www.office.com/>

にサインインし、Microsoft Teams が利用できることを確認してください。事前に各クラスで担任・コース長の先生が皆さんと Microsoft Teams の動作確認を行います（すでに行ったクラスもあります）。

4. 遠隔授業を受講するうえでの注意

遠隔授業で提供する授業コンテンツの YouTube や SNS などへのアップロードを禁止します。

オンデマンド型の遠隔授業では、学生の皆さんに動画や講義資料といった授業コンテンツを Moodle 上で提供します。また、学生の利便性を目的として、授業コンテンツはダウンロードが可能となっています。しかし、著作権保護の観点からダウンロードした授業コンテンツの加工や YouTube や SNS などにアップロードする行為を禁止します。

会議システムでの録画・撮影と YouTube や SNS などへのアップロードを禁止します。

ショートホームルームは、Microsoft Teams を利用したテレビ会議方式とします。そこでの様子を録画や撮影する行為を禁止します。これらを YouTube や SNS などにアップロードする行為も禁止です。

5. 具体的な遠隔授業の方法

本校では、以下の方針で遠隔授業を進めます。

- (1) 本校ホームページに掲載する**時間割表にしたがって、遠隔授業を行います。**
- (2) **毎朝の授業開始前（午前 8 時 40 分）**に、原則、すべてのクラス（専攻科を含む）で会議システム **Microsoft Teams** を利用した短時間の**ショートホームルーム（SHR）**を実施します。参加が困難な場合は、担任に連絡してください。
- (3) 本校ホームページに掲載する**時間割表の科目をクリック（タップ）**すると、各科目の **Moodle のコースのホームページ**に進みます。そこに掲載されている授業コンテンツ（授業映像、音声付パワーポイント資料、PDF ファイルなど）を順番に実施します。
- (4) 授業に関する質問は、**メール**および **Moodle や Microsoft Teams のチャット機能**などで受け付けます。
- (5) 課題に回答し、提出します（インターネットでの提出が難しい場合、後日、手書きを含む紙媒体での提出も可能です）。

以下に、(1)～(5)の詳細な説明を行います。

(1) 本校ホームページに掲載する時間割表にしたがった遠隔授業

本校ホームページ「遠隔授業の特設ページ」に各クラスの時間割表が PDF ファイルで置かれますので、この時間割にしたがって、学習を進めてください。

- 本科 1・2 年生はクラス・学科ごとの時間割表になっています。

例：1 年 1 組（機械工学科）の時間割

1-1 (1M)		月	火	水	木	金
08:40-08:50		SHR	SHR	SHR	SHR	SHR
08:50-09:35	1	総合英語ⅠA	基礎数学演習A	歴史総合A	設計製図Ⅰ	物理ⅠA
09:35-10:20	2					
10:30-11:15	3	保健体育Ⅰ（男子）	化学ⅠA	現代文A	基礎数学A	芸術A
11:15-12:00	4					
12:55-13:40	5	基礎数学A	古典A	情報処理Ⅰ	総合英語ⅠA	入門機械実習
13:40-14:25	6					
14:35-15:20	7	HR	—	保健体育Ⅰ（女子）	Oral English（希望者のみ）	
15:20-16:05	8					

- 本科3年以上は学科・コースごとの時間割になっています。

例：3年電気情報工学科の時間割

3E		月	火	水	木	金
08:40-08:50		SHR	SHR	SHR	SHR	SHR
08:50-09:35	1	情報理論	電気情報工学実験ⅡA	C言語実習	総合英語ⅢA	微分積分Ⅱ
09:35-10:20	2					
10:30-11:15	3	総合国語ⅡA		アナログ信号処理Ⅰ	微分積分Ⅱ	アナログ回路
11:15-12:00	4					
12:55-13:40	5	インターフェースⅠ	英会話ⅢA	保健体育Ⅲ	人間論Ⅰ	応用物理Ⅰ
13:40-14:25	6					
14:35-15:20	7	HR	微分積分Ⅱ	—	—	電気磁気学Ⅰ
15:20-16:05	8					

火 5・6	木 1・2
英会話ⅢA	総合英語ⅢA
Advanced	Advanced
Intermediate 1	Intermediate
Intermediate 2	
Intermediate 3	
Basic 1	
Basic 2	

- 時間割（PDF ファイル）の「科目名」をクリック（タップ）すると、その科目の **Moodle** のコースに進みます。
- 時間割（PDF ファイル）の「SHR」や「HR」をクリック（タップ）すると、**Microsoft Teams** に進みます。

(2) 毎朝の授業開始前（8時40分）のショートホームルームと1~3年のホームルーム

事前に、各クラスで担任・コース長の先生が皆さんと **Microsoft Teams** の動作確認を行います（すでに行ったクラスもあります）が、そのときと手順は同じです。

Office365 にサインインし、**Microsoft Teams** のアプリや Web ページでチーム内の各クラスのチャンネルに入ってください。

チーム名：[026]舞鶴高専授業（本科低学年） チャンネル：1 年 1 年 1 組 1 年 2 組 1 年 3 組 1 年 4 組 1 年機械工学科 1 年建設システム工学科 1 年電気情報工学科 1 年電子制御工学科 2 年 2 年 1 組 2 年 2 組 2 年 3 組 2 年 4 組 2 年機械工学科 2 年建設システム工学科 2 年電気情報工学科 2 年電子制御工学科	チーム名：[026]舞鶴高専授業（本科高学年） チャンネル：3 年 3 年機械工学科 3 年建設システム工学科 3 年電気情報工学科 3 年電子制御工学科 4 年 4 年機械工学科 4 年建設システム工学科 4 年電気情報工学科 4 年電子制御工学科 5 年 5 年機械工学科 5 年建設システム工学科 5 年電気情報工学科 5 年電子制御工学科
チーム名：[026]舞鶴高専授業 2020（専攻科） チャンネル：1 年 1 年機械制御システム工学コース 1 年建設工学コース 1 年電気電子システム工学コース 2 年 2 年機械制御システム工学コース 2 年建設工学コース 2 年電気電子システム工学コース	

- 「自分の音声」は必要なとき以外は OFF にしてください。
- 「自分の映像」は OFF にしてください（ON にすると受信者全員の通信量が増大してしまいます）。

(3) 遠隔授業の進め方

時間割（PDF ファイル）の「科目名」をクリック（タップ）すると、その科目の Moodle のコースに進みます。時間割の時間帯に受講するように心がけてください。

数値計算法 (4年専門共通)

Home / コース / 本科・一般および専門共通科目 / 4年 / 4y_Numerical_calculation

あなたの進捗

アナウンスメント

担当者情報

担当者：川田（電子制御工学科）

email：kawata@maizuru-ct.ac.jp

第1回：令和2年5月14日（木）

「数値計算法」の授業で何を学ぶのか？

第1章 非線形方程式の数値解法 — 2 分法

1.1 非線形方程式とは？

1.2 2 分法

課題提出（第1回）

質問があればどうぞ（チャット）

各科目の **Moodle** のコースには、各回の授業コンテンツが掲載されていますので、順番に進んでいってください。映像や資料を見るだけでなく、ノートにまとめる作業も進めてください。

(4) 授業の質問

授業の質問を適宜、受け付けます。メールや **Moodle** や **Microsoft Teams** のチャット機能などを利用してください。メールは随時、受け付けています。チャット機能については、各科目によって対応が異なりますので、Moodle での指示にしたがってください。

(5) 課題の提出

可能であれば、手書きのレポートを写真撮影し、**Moodle** あるいはメールに添付して提出することが求められる場合があります。この場合、スマートフォン上で動作するアプリ **Dropbox**

<https://www.dropbox.com/ja/features/productivity/doc-scanner-app/scan-pdfs>

…… **Dropbox plus** へのアップグレードは不要です！

を利用すると、比較的、簡単に手書きのレポートをスマホで撮影したのち PDF ファイルに変換し、提出することができます。Dropbox の解説動画を Moodle のコース「PDF ファイル提出の練習」

<https://moodle2.maizuru-ct.ac.jp/moodle/course/view.php?id=546>

に公開していますので、お試しください（事前にこのコースで提出の練習ができます）。

Moodle やメールでの提出が難しい場合、後日、手書きを含む紙媒体での提出も可能ですので、担任の先生や科目担当の先生に相談してください。

以上

6